



2020 年の誕生日を祝う

バーバ・ムクターナンダの物語

1語で十分：グルの言葉を大切にす

バーバの第 2 回世界ツアーで、私たちは毎晩、バーバとのサツァングに集まりました——
チャンティングをし、瞑想し、そしてバーバが講話や質疑応答をするのを聴きました。そして
それぞれのサツァングは、誰かが自分自身のバーバの体験を話すことで始まりました。私が
話す番になった時、私は言いました。「バーバと共に過ごしてきた 8 カ月間に、バーバは私に
たった 8 語を言ってくれただけでした」

私が話し終わると、バーバはマイクを自分の方に引き寄せて言いました。「今夜の話し手は、
8 カ月間で、バーバが彼に 8 語だけしか話さなかったと言った。真の弟子というものは、彼の
グルから 1 語聞く必要があるだけだ。今夜の話し手は、彼のグルから 8 語を受け取った。彼は
あとの 7 語はプラサードと考えるべきである」

翌朝、「シュリー・グル・ギター」の朗唱の後、バーバは私の前に立ち止まると、言いました。
「今日の調子はどうかね？」 【“How are you today?” : 4 語】

私は答えました。「元気です、バーバ」

バーバは続けました。「これで 16 語になる」 【“Now that makes sixteen.” : 4 語】

私は畏敬の念に打たれました。バーバは私にヒンディー語で話したのですが、その翻訳は英語でちょうど 8 語だったのです。一体どうやって、そんなことができたのでしょうか？



© 2020 SYDA Foundation®. 著作権所有。